

住友化学

***Creating What
the Earth Needs
Next.***



CORPORATE PROFILE

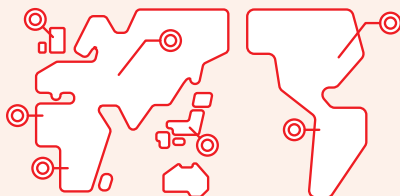
数字でわかる住友化学

創業



1913 年

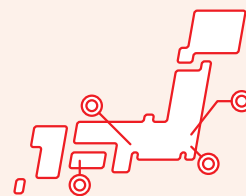
海外拠点数



56 拠点

(2026年4月時点)

国内拠点数



16 拠点

(2026年4月時点 本社・支店含む)

連結子会社数



152 社

(2026年3月31日時点)

連結従業員数



27,491 人

(2026年3月31日時点)

連結売上収益



23,285 億円

(2026年3月31日時点)

特許保有件数



12,584 件

(2026年3月31日時点)

SSS[※]認定製品の売上収益



5,556 億円

(2025年度)

※SSS(Sumika Sustainable Solutions):
環境・社会課題の解決に貢献する当社認定製品・技術

住友化学の企業理念

住友化学は、約400年の歴史を持つ「住友家」の事業を起源とし、現在もその事業経営の根本精神を継承しています。そして、その住友の事業精神を踏まえ、住友化学としての基本精神や使命、価値観を整理し、「経営理念」として明文化しています。

住友化学の企業理念体系

「自利利他 公私一如」

住友の事業は、住友自身を利するとともに、
国家を利し、かつ社会を利するものでなければならない

営業の要旨

第1条

わが住友の営業は信用を重んじ確実を旨とし、
もってその鞏固隆盛^{きやうこ}を期すべし。

第2条

わが住友の営業は時勢の変遷、理財の得失を計り、
弛張興廃することあるべしといえども、
いやしくも浮利にはしり軽進すべからず。

1. 技術を基盤とした新しい価値の創造に常に挑戦します。
2. 事業活動を通じて人類社会の発展に貢献します。
3. 活力にあふれ社会から信頼される企業風土を醸成します。

- 原則1 経済価値と社会価値の創出（「自利利他 公私一如」の推進）
原則2 国際社会の重要課題解決への貢献
原則3 関係機関との連携
原則4 ステークホルダーとの協働
原則5 トップコミットメントと全員の参画
原則6 ガバナンス

住友の
事業精神

経営理念

サステナビリティ
推進基本原則

長期的に目指す姿

住友化学は、住友の事業精神をはじめとする企業理念に沿って、100年以上にわたり事業を成長させてきました。肥料会社から化学会社へ、そして総合化学企業へと事業領域を広げる中で、当社の核となる強み、3つのコア・コンピタンスを確立しました。これらを活用し、4つの社会課題に対してイノベティブな技術でソリューションを提供していきます。そして、当社の長期的な目指す姿である「Innovative Solution Provider」へと成長していきます。

事業部門

当社の強み

CORE
COMPETENCE

1

幅広い
技術基盤を生かした
ソリューション開発力

→P.12

住友の事業精神

自利利他
公私一如

CORE
COMPETENCE

2

グローバル市場への
アクセス

→P.14

CORE
COMPETENCE

3

エンゲージメントの高い
多様な人材

→P.15

アグロ&ライフ
ソリューション

→P.8

ICT&モビリティ
ソリューション

→P.9

アドバンスド
メディカル
ソリューション

→P.10

エッセンシャル&
グリーン
マテリアルズ

→P.11

長期的に目指す姿

Innovative Solution Provider

社会課題を
イノベティブな技術で
解決する企業

4つの 社会課題への貢献

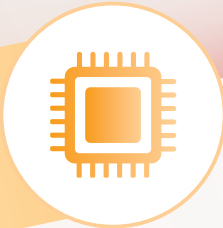


食糧

リジェネラティブ農業への貢献

食糧の安定確保と
環境との調和の実現

→P.8



ICT

情報技術の革新

ICTを活用した
包摂的な社会の実現

→P.9



ヘルスケア

先端医療の普及

世界中の人々の
健康的な生活の確保

→P.10



環境

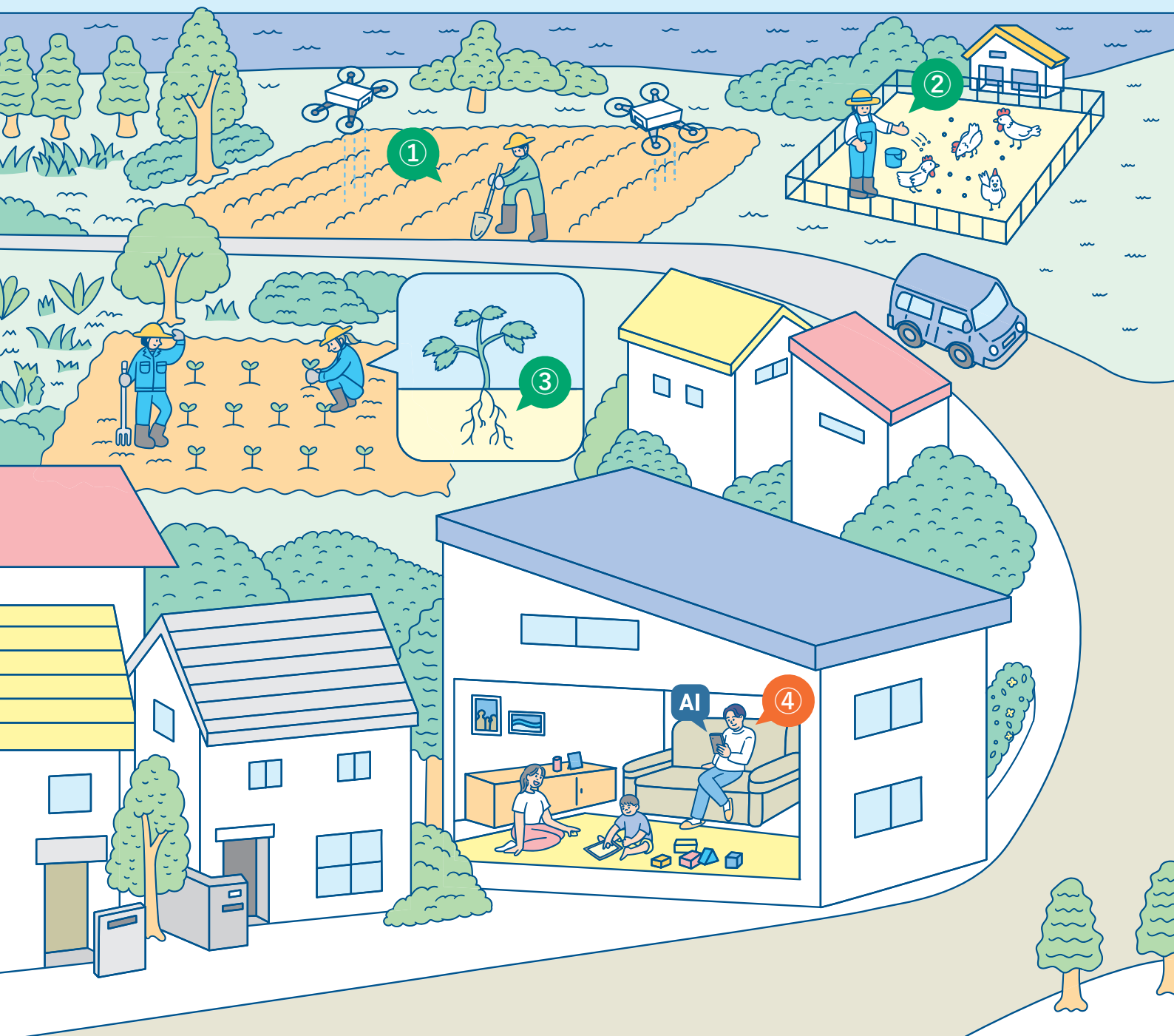
環境負荷低減社会の実現

地球環境回復と人と自然が
共生する世界の実現

→P.11

街と人々の暮らしを支える 住友化学のソリューション

見えないところで、人々の暮らしを支える住友化学。街の中に広がる当社の技術をご紹介します。



① 農業関連製品

効き目と安全性の高い農薬、殺虫剤、殺菌剤、除草剤、生物農薬、植物成長調整剤

② 飼料添加物

鶏肉や鶏卵の生産性向上に貢献する飼料添加物メチオニン

③ 根圏微生物資材

炭素貯留を通じた気候変動抑制に貢献する菌根菌

④ 半導体材料

先端半導体の製造プロセスを支えるフォトレジストや高純度ケミカル、製造装置用セラミックス向けの高純度アルミナ

⑤ スーパーエンジニアリングプラスチックス

航空機や医療用途に用いられるポリエーテルスルホン(PES)、最先端の電子機器に欠かせない液晶ポリマー(LCP)



⑥ディスプレイ材料

美しく鮮明な画面を実現する偏光フィルムやカラーレジスト、スマートデバイスに欠かせないタッチセンサーパネル

⑦化合物半導体材料

高速・大容量通信、省エネ、自動運転等の次世代技術を支える各種化合物半導体材料

⑧電池材料

電気自動車向けリチウムイオン二次電池に使用されるセパレータ

⑧先端医療向け製品

医薬品原薬や遺伝子編集治療および再生・細胞医療に活用される製品

⑨プロピレンオキシド

自動車シートのクッション材などに使用されるポリウレタンの原料、プロピレンオキシド

⑩メタクリル樹脂

大型観覧車の窓や水族館の水槽に使用されるメタクリル樹脂

事業部門紹介

アグロ&ライフソリューション、ICT&モビリティソリューション、アドバンスドメディカルソリューション、エッセンシャル&グリーンマテリアルズ。私たち住友化学は、これら4つの事業分野にわたり、幅広い産業や人々の暮らしを支えるソリューション(技術・製品)をグローバルに供給しています。

アグロ&ライフソリューション部門

AGRO & LIFE SOLUTIONS

アグロ事業部／国際アグロ事業部／生活環境事業部

農作物の安定的な供給、世界の人口増加に対応するための食糧増産、感染症の蔓延^{まんえん}防止、衛生的で健康な生活の実現などに貢献するため、農薬や肥料、飼料添加物のほか、家庭用殺虫剤、感染症対策製品などを製造・販売しています。



農業用殺虫剤や除草剤などの
各種農業関連製品



飼料添加物 DL-メチオニン



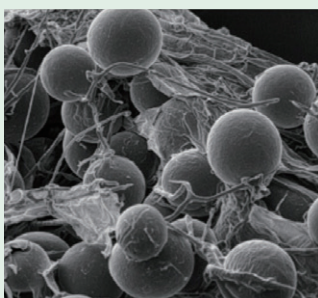
家庭用殺虫剤原体など



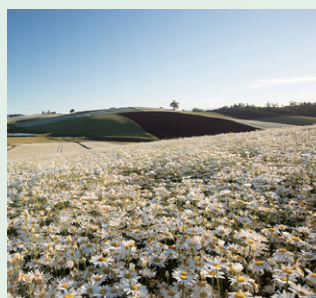
マラリア予防用長期残効型
防虫蚊帳「オリセット®プラス」



バイオラショナル製品が
活用される果樹農園



根圏微生物資材 菌根菌



バイオラショナル製品に使用される
除虫菊の栽培

食糧分野への貢献

リジェネラティブ農業の実現を通じて、
農業生産性向上や環境問題といった課題の解決を目指します。

社会課題

人口増による
食糧需要増加

耕地面積
増加の停滞

生物多様性
への影響

農業活動による
土壌の侵食・
GHG排出

持続可能な新たな
農業体系が必要

目指す解決の方向性

農業生産性を維持・向上させつつ、
自然資本の回復を実現する

リジェネラティブ農業の
実現・普及



ICT&モビリティソリューション部門

ICT & MOBILITY SOLUTIONS

ディスプレイ材料事業部／半導体材料事業部／

先端無機製品事業部／機能材料事業部

AIに代表される技術革新の加速に伴い、変革期を迎えている社会において、新たな価値創出に貢献するため、偏光フィルムなどのディスプレイ向け材料、各種ケミカルやフォトレジストなどの半導体用材料、次世代モビリティに求められるエンジニアリングプラスチックなどの機能材料や電池部材、省エネルギー社会に寄与する高純度アルミナや化合物半導体などの先端無機製品を製造・販売しています。



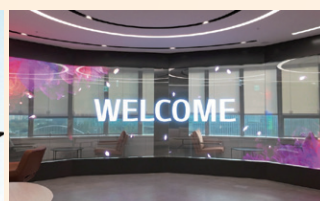
偏光フィルム「スミカラン®」



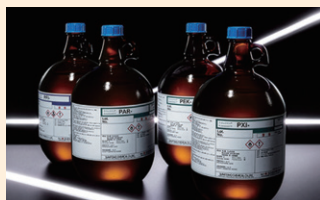
カラーレジスト「ダイブライト®」



タッチセンサーパネル



ガラス透明LEDディスプレイ



フォトレジスト「スミレジスト®」



半導体用プロセスケミカル



化合物半導体材料



高純度アルミナ



スーパーエンジニアリング
プラスチック



レゾルシン



セパレータ「ベルヴィオ®」



高純度アルミニウム

ICT分野への貢献

エネルギー効率向上などの課題に対し、独自の核心技術と蓄積したノウハウを活用した革新的なソリューションを提供することで、次世代技術の推進への貢献を図ります。

社会課題

社会変革の実現を
可能にするための技術開発

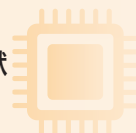
生成AIの浸透による
エネルギー消費量の増加

高度な技術革新が
必要

エネルギー効率の
さらなる向上

目指す解決の方向性

独自の核心技術と蓄積したノウハウを融合、
顧客イノベーションを加速する
トータルソリューションによる
次世代技術の推進への貢献



アドバンストメディカルソリューション部門

ADVANCED MEDICAL SOLUTIONS

ファーマソリューション事業部／
S-RACMO株式会社／株式会社RACTHERA

多様な医療やヘルスケアニーズに応え、人々のより健康で豊かな生活に貢献するため、高度化低分子医薬、ゲノム編集による遺伝子治療用のオリゴ核酸、および再生・細胞医薬のCDMO*（製法開発、製造受託）事業を展開するとともに、再生・細胞医薬の創薬にも取り組んでいます。

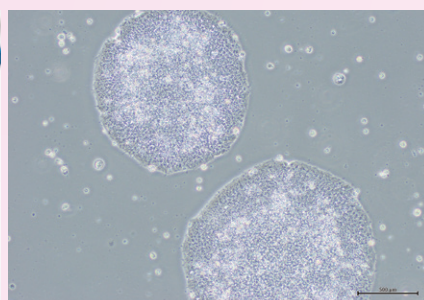
*CDMO：Contract Development and Manufacturing Organization



医薬品原薬



医療用オリゴ核酸のイメージ



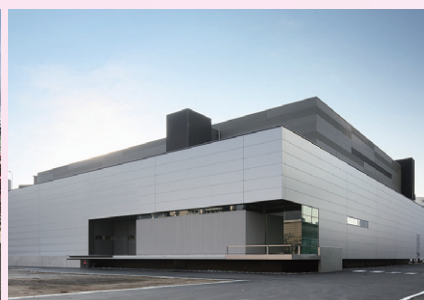
住友ファーマ(株)で培養したiPS細胞



高度化低分子医薬製造プラント



医療用オリゴ核酸製造プラント



再生・細胞医薬製造プラント
「SMaRT」

ヘルスケア分野への貢献

医療ニーズの多様化や個別化医療への対応が求められる中、
iPS細胞を中心とした再生・細胞医療のソリューションを提供していきます。

社会課題

生活習慣病の
増加

高齢化に伴う
多病併存

治療効果の
個人差

薬剤耐性の
進行

医療ニーズ多様化
への対応

個別化医療
への対応

目指す解決の方向性

- ・再生・細胞医療などの
先端医療技術の開発
- ・多様な治療・医薬品モダリティへの対応
- ・健康寿命の延伸と
クオリティオブライフの向上

エッセンシャル&グリーンマテリアルズ部門

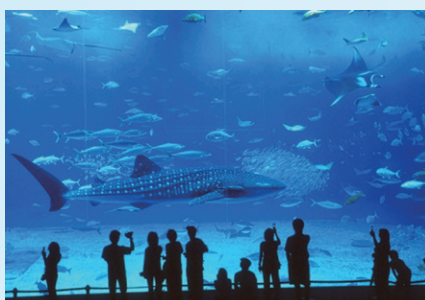
ESSENTIAL & GREEN MATERIALS

エッセンシャルマテリアルズ事業部／エッセンシャルポリマーズ事業部／
MMA事業部／ライセンス&グリーンソリューション事業部

ポリエチレン、ポリプロピレン、メタクリル樹脂などの合成樹脂や、各種工業薬品、無機材料など、さまざまな産業の礎となる化学製品を提供しています。資源循環を実現するリサイクルプラスチックをはじめ、環境負荷の低減に貢献する製品の開発・供給と、技術ライセンスによるソリューション提供にも積極的に取り組んでいます。



プロピレンオキシドを原料として作られた
クッション材を使用する自動車シート



メタクリル樹脂を用いて作られた
水族館の大型水槽



技術ライセンスによるソリューション提供



エタノールからプロピレンを直接製造するパイロット設備
※この設備は、NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術
総合開発機構)のグリーンイノベーション基金の支援を受けています。

環境分野への貢献

リサイクル技術やバイオマス活用など、環境負荷低減を実現する
技術の社会実装を目指します。

社会課題

GHG排出
(製造・焼却時)

石油資源の
枯渇

プラスチックの
海洋流出

循環性のある
多様な炭素源を
活用できる
技術が必要

目指す解決の方向性

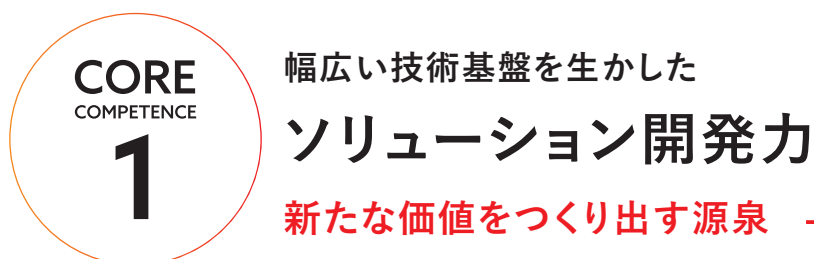
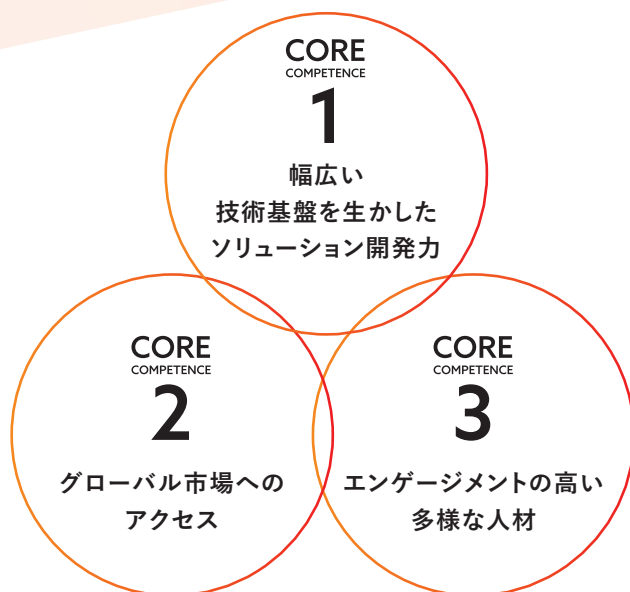
マテリアルリサイクル、
高効率ケミカルリサイクル、
バイオマス活用等、
環境負荷低減を実現する
化学品製造技術を確立・普及



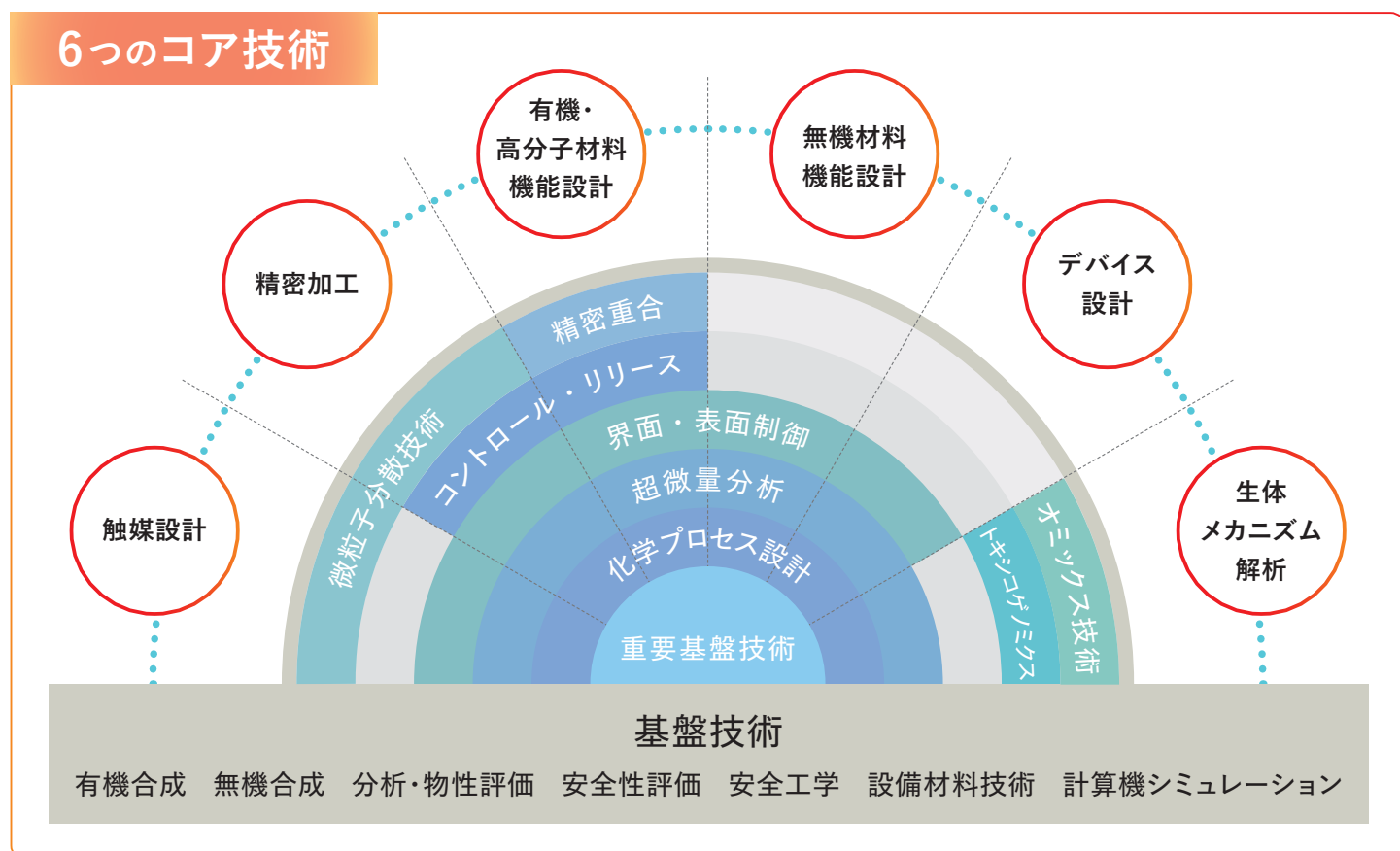
社会が直面する課題に、 ソリューションを提供する

コア・コンピタンス

住友化学は、経営の下に培ってきた「幅広い技術基盤を生かしたソリューション開発力」「グローバル市場へのアクセス」「エンゲージメントの高い多様な人材」の3つをコア・コンピタンスと認識しています。これらを最大限に生かし、食糧、ICT、ヘルスケア、環境の4つの社会課題の解決を通して、企業価値向上に取り組んでいきます。



長年にわたる広範な研究活動を通じて培った「6つのコア技術」、そしてそこから生まれる3つのX(GX・DX・BX)を切り口とした重要アセットを活用することで、革新的なソリューションを次々と生み出し、広く社会へ提供していきます。



蓄積

50年

以上の研究実績

宝塚研究所(1971~1984)を起点とし、
農業・医薬品研究を通してバイオ技術を蓄積

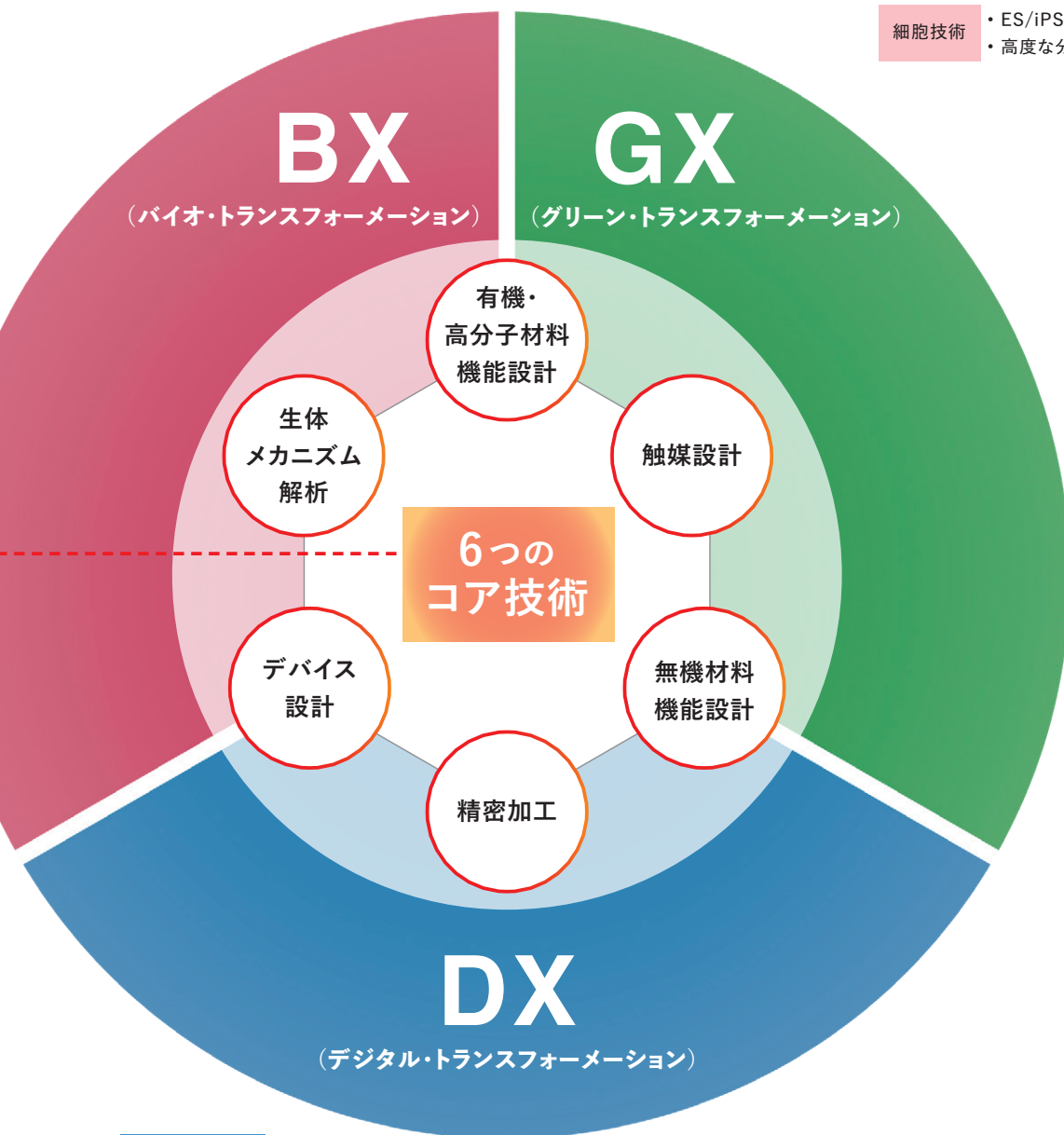
オープンイノベーション

合成生物学を用いた高機能化学品開発を目指し、
有力スタートアップとの連携を加速

技術力

200 超の
BX関連特許ファミリー

- | | |
|------|--------------------------------|
| 解析技術 | ・生体メカニズム解析
・オミックス総合解析 ・菌叢解析 |
| 合成技術 | ・生体触媒開発 |
| 細胞技術 | ・ES/iPS細胞研究の早期着手
・高度な分化誘導技術 |



技術力

触媒・プロセス
技術ライセンス

約 70 件

- ・低環境負荷の化学品製造を可能とする技術(PO単産法、塩酸酸化)

カーボン

ニュートラル推進

総合化学メーカー初の
SBT認定2018年

GHG2030年

50% 削減

- ・「責務」と「貢献」の両面から
カーボンニュートラルに取り組む
- ・2025年度は45%の削減を達成

人材力

DXコア人材

約 1,700 名

- ・独自の教育プログラムによる育成
- ・DX関連の全社イベントで社員のデジタルリテラシー向上

蓄積

50年

以上の研究実績

1980年代に早くも計算科学による薬物設計システムを開発
⇒ コンピューター・ケミストリーの礎を築き、MIの発展に貢献

技術力

Clarivate Top100

グローバル・イノベーター

5 年連続選出

データサイエンティスト部隊による
インフォマティクス(BI、CI、MI)の活用深化



Innovation Center
MEGURU

環境負荷低減技術の開発拠点整備
(Innovation Center MEGURU)

CORE
COMPETENCE

2

グローバル市場へのアクセス

世界市場での高い競争力

世界経済や社会の枠組みの変化に対応するため、住友化学グループは全ての事業で積極的なグローバル化を進めました。当社グループの現在の海外売上収益比率は約7割に達しています。今後も当社グループの競争力ある事業を積極的に世界の市場へ展開し、持続的な成長を実現していきたいと考えています。



アメリカ
Sumitomo Biorational Company



ブラジル
住友化学ブラジル



中国
住化電子材料科技(無錫)



韓国
東友ファインケム

エンゲージメントの高い多様な人材

未来を切り開くパワー

住友化学グループでは、世界中で約2万7千人の従業員が活躍しています。エンゲージメント、つまり従業員の意識と事業活動のつながり度合いが高いこと、そして人材のバックグラウンドが多様であることは、当社グループの大きな強みの一つとなっています。

管理社員（課長職相当）登用者における
女性比率



16.3%

※2023年度から2025年度の
管理社員登用者累計における女性比率

男性社員の
育休等取得率



97.9%

教育関連投資額



約**31**万円/年・人

社員の能力・知識・スキル開発実施率



81.5%

（2025年度 単体）

企業理念の浸透「Sumitomo Chemical Group 自利利他ACTION」

住友化学グループでは、全役職員一人ひとりが企業理念を共有し、グループ一体となって実践する取り組みを進めています。その一つとして、2014年から「自利利他ACTION」を実施しています。

自利利他ACTIONの取り組み

「Innovative Solution Providerを目指して挑戦しよう ～私たちの仕事を通じた『自利利他 公私一如』の実践～」をテーマに、職場での意見交換を行い、一人ひとりが仕事を通じて「自利利他 公私一如」の実践に取り組んでいます。



住友化学グループが長期的に目指す姿「Innovative Solution Provider」に向け、一人ひとりの挑戦を呼びかけています。

住友化学グループの
サステナビリティ・アンバサダー



 住友化学株式会社



公式ウェブサイト
<https://www.sumitomo-chem.co.jp>



公式YouTube
https://www.youtube.com/@sumitomochemical_official



レスポンシブル・ケア

2608-T